

おめでとうござります!!



祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定! 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.26

みやぎSDGs Farm



みやぎSDGs Farm

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGs Farm」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。

詳しくはこちらから



賛同企業
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]

河北新報社営業局

TEL. 022-211-1318

☑ koukoku@po.kahoku.co.jp



次世代の人々の暮らしを考えた生活を心がけていきたいです。これまではSDGsについて身近な問題に感じていませんでした。みやぎSDGs塾に参加してから、身近なことから取り組んでいくことができるといふことだけではなく、自分の子供たちの世代にも大きく関わってくる話なので感じる事ができました。

具体的には、大きく二つあります。一つ目は、自分を含めた各個人の個性を考える意識を持つことです。性別や地位、見た目などの偏見に左右されるのではなく、それぞれの特徴をその人の個性と捉え、個性を尊重することが大切だと考えます。二つ目は、自分を合わせた各個人の個性を考える意識を持つことです。性別や地位、見た目などの偏見に左右されるのではなく、それぞれの特徴をその人の個性と捉え、個性を尊重することが大切だと考えます。

次世代の人の暮らしを考えた生活 宮城大学フードサービス論研究室 由比一光さん

このような意識を持つことで、次の世代の人々も暮らしやすい社会が作れるのではないかと感じます。二つ目は、廃棄を出してしまおうという量の食料を手にしないということです。この意識を持つことで、必要な量だけ供給する仕組みが作りやすくなり、より多くの人に食料を供給することができます。仕組みが整えば、次世代でも、安定した食料供給ができるようになると思います。



私がみやぎSDGs Farmに参加して感じたのは、『SDGs』はもはや社会の共通言語になっているということです。多くの企業や自治体、小学生を含めた学生までもが、SDGsを認知し、考え、取り組みを行っていました。

そして、私はみやぎSDGsアンバサダーに認定していただくことを機に「魅力溢れる教育機会を多賀城に」を宣言します。多賀城工場地帯連絡協議会(以下、多工連)では、多賀城市中央公民館と一緒に2016年から「サイエンスデイin多賀城」というイベントを開催しています。小学生を対象に、多工連に加盟している会員企業

魅力溢れる教育機会を多賀城に! 多賀城工場地帯連絡協議会 大谷哲也さん

やその他の教育機関などが持つ技術を体験しながら科学に親しむ「科学・技術の地産地消」を目指しています。開催の背景には、子供たちの理科離れを解消できないか、という想いがあります。とはいえ、「サイエンス」よりも「SDGs」の方が、子供たちの興味を引けるはず!という気づきも、このみやぎSDGs Farmに参加して得ることができました。そこで今後は科学だけでなく、生物多様性や自然保護などSDGsに関する出展を増やしていき、より多くの子供たちや出展者に参加してもらえる教育イベントにしていきたいと思っています。



「山一地所さんの物件でお世話になっていくのが」引越して数年、日に日に仙台が好きになっていきます」

当社主催のイベントにご参加された方々からのお言葉です。暮らしに関わる仕事に従事する者として、直接このようにお声がけをしていただけたことがうれしくてなりませんでした。

当社は住まいに関わるサービスをワンストップで提供する総合不動産会社です。私には主にお客様や地域の方々を対象とした催事の企画運営を担当しています。地元のお祭りや清掃活動へ参加し住民の方々と交流する機会を積極的に設けるほか、仙台のスポーツチームや地元企業への協賛を通じて

地域とともに築く未来 山一地所 原田千純さん

地域の活性化を図っています。笑顔でイベントに参加される方々の様子を見て、地域への貢献意識が一層高まるのと同時に、かえってこちらがその活気に鼓舞されることも多々あります。地域と会社の架け橋ともなるこの活動が、より良い社会を築くための大切な一歩になっているのだと実感しました。この街に暮らす人々に寄り添い、誇れる故郷を未来へ継承していくこと。みやぎSDGs Farmでの活動を経て、当社の事業内容や自分の仕事にあらためて大きな価値を見出すことができました。これからもSDGsアンバサダーの一員として、誇りを持って業務に励んでまいります。

